

すごいっしょ！ひだか ～知ってる?!ひだかのいちご～

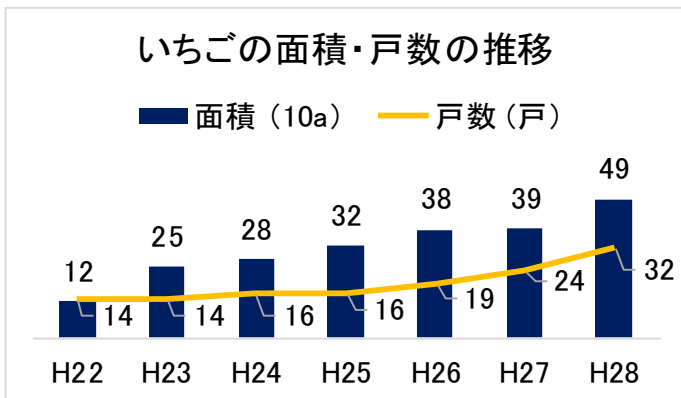
どんな産地なの？

JAひだか東では、平成28年は32戸のいちご栽培農家が、6～11月までケーキ用として「すすあかね」という品種をつくり、JAに出荷・共同選果され、東京のケーキ屋さんへ届けられます。

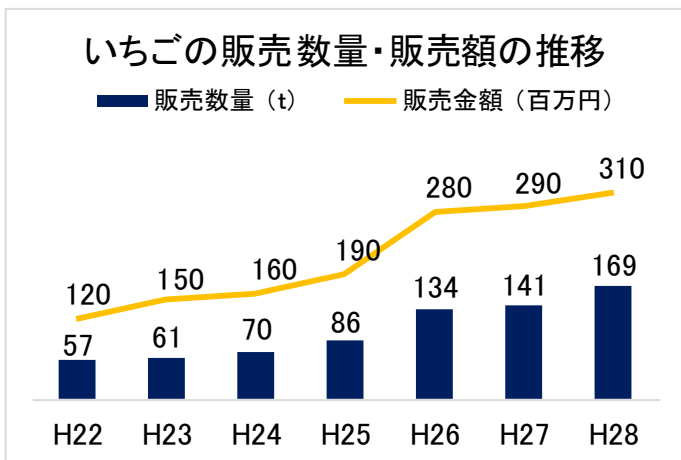
びっくりなのは、いちご栽培農家の75%が、浦河町・様似町に移住し、新たにいちごをつくり始めた「新規参入者」であるということ。



町営のいちごハウス団地



JAによる共同選果



普及センターによる栽培技術支援

産地になるまでの苦労話

JA ひだか東地域は言わずと知れた競走馬の産地ですがその経営は厳しく、高齢化・後継者不足も深刻でした。そこで、町・JA・普及センターが中心となり、ケーキ用いちごによる新規参入を勧めて来ました。町はリース方式によるいちごハウス団地を、JAは収穫されたいちごを選果・パッケージする共同選果場を整備し、普及センターはいちご栽培技術を支援した結果、地域に活気が蘇るまでになったのです。

これからの展望は…

現在も立派ないちごをつくる農家になるために、農業研修をされている方々がおられます。平成29年に5戸、30年に4戸が研修を終え、新たないちご農家さんとしてデビューします。

これらも日本一をキープできるよう努力を重ねて行きます！